

基本方針ごとの検証指標の目標と実績及び施策事業実績の評価(令和4年度)



1 自然環境の基盤である森林や河川等の保全

項目	担当課	令和4年度実績			評価及び今後の取組
		項目	計画値	実績値	
(1)水源かん養域の保全や交流・連携の推進	みどり公園課 水保全課	市外の水源かん養域の森林保全のための人工造林	3ha	2ha	・市内へ豊かな地下水をもたらす市外の水源かん養域の緑の保全は、概ね計画どおり進んでいる。近年の造林した水源かん養域では生育不良や鳥獣被害等も見られるため、候補地の選定及び既存林の補植、間伐等適正な保育管理も必要である。R6年度以降の計画については、次期水源かん養林整備計画（第7次）の策定にあわせ見直す予定である。
		水源かん養林森林整備協定締結に基づく、上下流自治体連携による森林の造成や整備	9件	9件	
(2)環境に配慮した河川整備の推進・促進	河川課	広域河川の整備★	70m	115m	・洪水による被害の防止や軽減を図るだけでなく、豊かな自然環境の保全や共生を目的とした河川整備を進めており、整備は計画どおり進んでいる。今後も計画的に整備を進めるとともに、維持管理も含めて、緑や生態系などの自然環境に配慮した水辺空間の形成に取り組んでいく。
		準用河川の整備★(写真1)	100m	170m	
(3)健全な森づくりの推進	みどり公園課 花とみどり協働課	森林経営管理制度（経営管理が行われていない森林と担い手をつなぐ制度）の運用	10,981千円	10,897千円	・森林の有する多面的機能の持続的な発揮に向けた健全な森づくりの推進として、森林経営管理制度などによる取組が行われている。R5年度以降は地籍調査未実施地区での意向調査となるため、所有者や境界が不明な森林が多くなり事業の進捗への影響が考えられる。 ・市民との協働による里山の保全の推進は、放置竹林有効利用推進事業などにより推進している。森林経営管理制度と同様に今後引き続き取組を推進していく。
		放置竹林有効利用推進事業（竹粉砕機貸し出しなどを行う事業）	20団体	20団体	

★………緑化重点地区で主に取り組む事業

2 身近な自然環境の保全

項目	担当課	令和4年度実績			評価及び今後の取組
		項目	計画値	実績値	
(1)地域制緑地等による緑の保全	都市政策課 みどり政策課	風致地区内の緑の保全、啓発（HP等の広告媒体による啓発）	1件	1件	・緑豊かな都市景観を維持するため、風致地区内の緑の保全の啓発をHP等で行っている。今後も引き続き啓発を行っていく。 ・市街地およびその周辺に残された貴重な樹林地等を、地権者の理解と協力を得て指定する環境保護地区は、交付金等により所有者において管理を行っていく。今後も引き続き所有者による管理を支援していく。
		環境保護地区（市街地周辺に残された貴重な緑地や自然環境として定める地区）の管理(写真2)	7,500千円	7,145千円	
(2)保存樹木の適正管理	みどり公園課	保存樹木（先人が残した貴重な名木や老樹を保護し、次の世代に引き継ぐために指定している樹木）の適正管理の支援(写真3)	5件	9件	・地域に残る名木や古木等を、地域のランドマークとして保護・育成するための保存樹木の管理は支援や助成により適正管理に努めている。今後も引き続き支援をしていく。
		保存樹木の助成(写真3)	10件	11件	
(3)田園の保全	都市デザイン課 農業政策課	熊本農業振興地域整備計画に基づく優良農地の確保	実施	実施	・優良農地を確保・保全するとともに、農業振興に関する施策を計画的に進めている。今後も引き続き確保・保全する。



(写真1) 環境に配慮した河川整備(藻器堀川)



(写真2) 環境保護地区(上南部町・下南部2丁目)



(写真3) 保存樹木(菅原神社 黒髪1丁目)

基本方針ごとの検証指標の目標と実績及び施策事業実績の評価(令和4年度)

3 地球環境や生物多様性に配慮した自然環境の保全

項目	担当課	令和4年度実績			評価及び今後の取組
		項目	計画値	実績値	
(1)熊本市生物多様性戦略の推進	環境政策課	江津湖の外来魚駆除	20回	20回	・生物多様性に配慮した生物の生息・生育地の保全のための外来種の駆除を適宜行っている。駆除に関しては、ある程度の駆除はできても、全滅させる駆除ができないという課題がある。今後も引き続き駆除を継続していく。
		市内の外来種駆除(写真4,5)	2件	10件	
(2)Eco-DRR(生態系を活用した防災・減災)の視点の推進	みどり公園課	森林間伐(立田山憩の森内保安林)(写真6)	70本	76本	・森林等の生態系が有する防災・減災機能を発揮し、自然災害リスク等の改善の取組として、森林間伐等により適正管理を行っている。 R3年度R4年度は立田山保安林のナラ枯れ被害木の伐採を行った。今後も引き続きEco-DRRの視点から事業を推進していく。



写真4 特定外来生物(アライグマ)駆除



写真5 特定外来生物(オオキンケイギク)の繁茂



写真6 土砂災害防備林(立田山)

基本方針ごとの検証指標の目標と実績及び施策事業実績の評価(令和4年度)

基本方針2 緑を育む(緑あふれる都市づくりに向けた緑の創出)

「緑を育む」検証指標と目標

※緑視率:

人の視野を占める緑の面積の割合であり、緑視率がおよそ25%を超えると緑が多いと感じ始めるという結果がある。各地区の代表的な交差点において測定を行っている。 ※緑視率の測定は毎年秋頃(10月~11月頃)に実施



緑化重点地区		単位	緑視率(%)										
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度 目標値
中心市街地	中心市街地	%	8.4	4.8	5.4								
	植木地区		10.0	10.9	9.3								
北部地区	4.6		5.3	5.0									
楠・武蔵ヶ丘地区	20.3		19.1	19.0									
八景水谷・清水亀井地区	7.3		7.8	6.1									
子飼地区	4.2		3.3	3.7									
長嶺地区	29.0		30.1	30.9									
水前寺・九品寺地区	13.7		14.3	14.4									
健軍地区	1.5		1.2	0.9									
平成・南熊本地区	14.9		15.6	16.5									
刈草地区	13.1		11.4	10.1									
富合地区	10.2		6.4	8.1									
城南地区	16.7		19.4	19.7									
川尻地区	10.5		12.5	13.5									
城山地区	7.3		7.5	8.2									
上熊本地区	12.3		17.0	13.4									
第2目標値:全箇所の平均値			11.5	11.7	11.5							25.0	
第1目標値:15%以上になった箇所数		箇所	3	5	4							16	



※

緑視率は、第1目標の15%以上を達成した箇所が4箇所となり、全体の平均値についても僅かではあるが減少した。減少の理由としては、除草及び街路樹の剪定等によるものと考えられる。民有地の樹木の生長等により緑量の増加が確認できる箇所もあるため、今後も引き続き民有地・公共地緑化を推進し緑視率の向上を目指したい。緑視率調査には、市民参加型の手法も導入しているが、参加率が低いため、PR活動を行い引き続き普及、推進の取組を進めていきたい。中心市街地に緑が多いと感じる市民の割合が、令和3年度から令和4年度にかけて増加しているのは、花畑広場やアミュプラザ熊本の整備、令和元年に開業したサクラマチクマモトの屋上緑化等の植物の生長に伴う緑量の充実がひとつの要因と考えられる。今後も市民や観光客にも、緑が豊かと感じてもらえる効果的な取組を推進していくことが必要である。

1 効果的な公共施設等の緑の創出

項目	担当課	令和4年度実績			評価及び今後の取組
		項目	計画値	実績値	
(1)道路の緑化	みどり公園課	街路樹再生計画策定委員会開催★	1回	3回	・景観や安全性・快適性を考慮した街路樹等の形成および持続可能な維持管理については街路樹再生計画に基づき、広く市民への丁寧な説明と理解を深めながら、安全で快適な街路樹空間の整備を行っていく。 ・熊本市電の軌道敷緑化(緑のじゅうたん)新設★(写真7)
		街路樹の維持管理★	750,900千円	750,900千円	
		熊本市電の軌道敷緑化(緑のじゅうたん)新設★(写真7)	0m	0m	
(2)学校の緑化	みどり公園課 花とみどり協働課	学校樹維持管理(剪定、危険木対応、害虫駆除)業務(写真8)	67,522千円	52,512千円	・学校緑化の推進のため、学校樹の適切な維持管理を行っている。今後も樹木調査による樹木の状態確認を行いながら維持管理を進めていく。 ・令和4年度から樹木の過密化の課題のある学校を対象に「学校の森再生プロジェクト」を実施している。具体的には、若葉小学校の4年生を対象に「学校の樹木について考える授業」を行い、若葉小学校の樹木の現状や問題を一緒に考え、学校樹木の適正化に向けた移植等を行う。
		学校環境緑化コンクールの相談助言部門の応募校数★	15校	8校	
(3)その他の公共施設の緑化	みどり公園課 各施設所管課	公設運動施設(全40施設)の樹木剪定・伐採(写真9)	10本	23本	・市民のスポーツ振興や、健康増進の場となる緑豊かな社会体育施設の適切な維持管理として、樹木の剪定伐採を行っている。今後は法面等の危険箇所の維持管理が課題である。 ・区役所やまちづくりセンター、小中学校、コミュニティセンター等における、区の花による魅力発信事業や、環境総合センターの温暖化防止にもなるグリーンカーテンによる緑化など、地域特性を活かした様々な緑化活動に取り組んでいる。今後も引き続き公共施設の緑化を検討・推進していく。
		「北区の魅力!」を活かした交流発信事業	405千円	405千円	
		環境総合センターのグリーンカーテンの維持管理(写真10)	100㎡	100㎡	
		幸田まちづくりセンターのフラワーポットの維持管理	15基	17基	

★.....緑化重点地区で主に取り組む事業



写真7 市電軌道敷緑化



写真8 学校樹維持管理



写真9 公設運動施設の樹木剪定・伐採



写真10 グリーンカーテンの維持管理

基本方針ごとの検証指標の目標と実績及び施策事業実績の評価(令和4年度)

2 多様な主体との協働による民有地の緑の創出

項目	担当課	令和4年度実績			評価及び今後の取組
		項目	計画値	実績値	
(1)民有地の緑化	花とみどり協働課	民有地緑化の補助金(つながりの森づくり補助金)の活用によって行われた緑化面積	700㎡	950㎡	・民有地緑化補助については、令和4年度から緑化重点地区において補助上限額を上げたことで、実績を伸ばすことができた。今後も広報に努め、緑化重点地区の緑化を推進していく。
(2)商業地の緑化	建築指導課 商業金融課 花とみどり協働課	商店街活性化のための補助金(緑化活動含む)★(写真11)	50千円	50千円	・商業地における、それぞれの特性に応じた、賑わいのある中にも安らぎを感じる緑の空間創りのため、商店街での補助(緑化活動含む)などを行った。 ・地域拠点における駅やバス停周辺の緑化推進は、緑の基本計画アクションプログラムの取組として上熊本駅・通町筋のプランター設置を行った。今後も各地域拠点においてアクションプログラムをはじめとする取組を進めていく。
		地域拠点における駅やバス停周辺の緑化推進として、フラワーポット等の設置★(写真12)	無	2件	
(3)工業地の緑化	企業立地推進課	特定工場の新・増設に関する届出および適切な運用の指導	計画値無	3件	・工業地における、職場環境の向上、建物周辺の環境保全、地域社会の融和を図るための、工場、事業所等の緑化については、特定工場の新・増設に関する届出では適切な指導を行っている。今後も引き続き適正に行っていく。
(4)建築・開発時における緑の保全・創出	みどり政策課	・開発行為に伴う緑化面積	17,000㎡	30,191㎡	・緑の減少や周辺環境の悪化を未然に防止するための、開発行為や建築物の新築、大規模小売店舗の届出において、緑の保全、緑化の推進に関する協議は条例等に基づき適切に行われており、緑化面積の増加に寄与している。今後も引き続き条例に基づき行っていく。 ・開発行為区域内の樹林地等の保全要請は、実績がなかったが、今後事例があった場合は適正に対応していく。
		・建築確認に伴う緑化面積	13,000㎡	18,646㎡	
		・開発行為区域内の樹林地等の保全要請	推進	0件	
(5)緑を活用した景観まちづくりの推進	都市デザイン課 みどり政策課	建築を行うにあたり景観法に基づく届出(写真13)	無	204件	・「森の都」としての知名度や質の向上に向けて、緑を活用した景観まちづくりは景観法に基づく届出が適切に行われている。夜間景観についても、「熊本市光のマスタープラン」に即した良好な景観誘導を図っていく必要がある。R5.3.28にオークス通りクスノキ(15本)を景観法第28条に基づく景観重要樹木第1号に指定した。

★……………緑化重点地区で主に取り組む事業



(写真11) 商店街内の緑化の推進



(写真12) プランター等の設置(上熊本駅)



(写真13) オークス通りクスノキ(北側)

3 中心市街地において本市の顔となる緑の創出

項目	担当課	令和4年度実績			評価及び今後の取組
		項目	計画値	実績値	
(1)官民連携による緑化の推進	みどり公園課 花とみどり協働課 都市デザイン課	アーケード内の緑化★	検討中	未実施	・アーケード内緑化の推進は、商店街と調整しながら、今後モバイルグリーンなども含めて検討していく。 ・まちなか再生プロジェクト等の推進によりオープンスペースを確保することで緑の創出が適切に行われている。今後も引き続き事業を推進していく。
		まちなか再生プロジェクト(中心市街地の老朽建築物の建替えを促進し、まちなかの防災機能等を向上させる取組)	10件	4件	
(2)中心市街地での各種緑化事業の推進	みどり公園課 市街地整備課	熊本駅周辺の緑化推進(フラワーポットやプランターの設置)(写真14)	検討中	検討中	・熊本駅周辺のフラワーポット等の設置による緑化の推進は、新幹線口駅前広場の今後の改修に合わせて検討していく。
(3)緑化地域の指定に関する調査等	みどり政策課	緑化地域(都市環境の形成に必要な緑地が不足し、建築物の敷地に緑化を推進する必要がある地域)の候補地の選定及びその地区の指定に必要な事項についての調査検討(図1)	検討中	検討中	・都市緑地法に基づき、一定規模以上の敷地における建築物を対象に、緑化率規制が可能となる緑化地域の指定に関して調査・検討を行っていく。

★……………緑化重点地区で主に取り組む事業

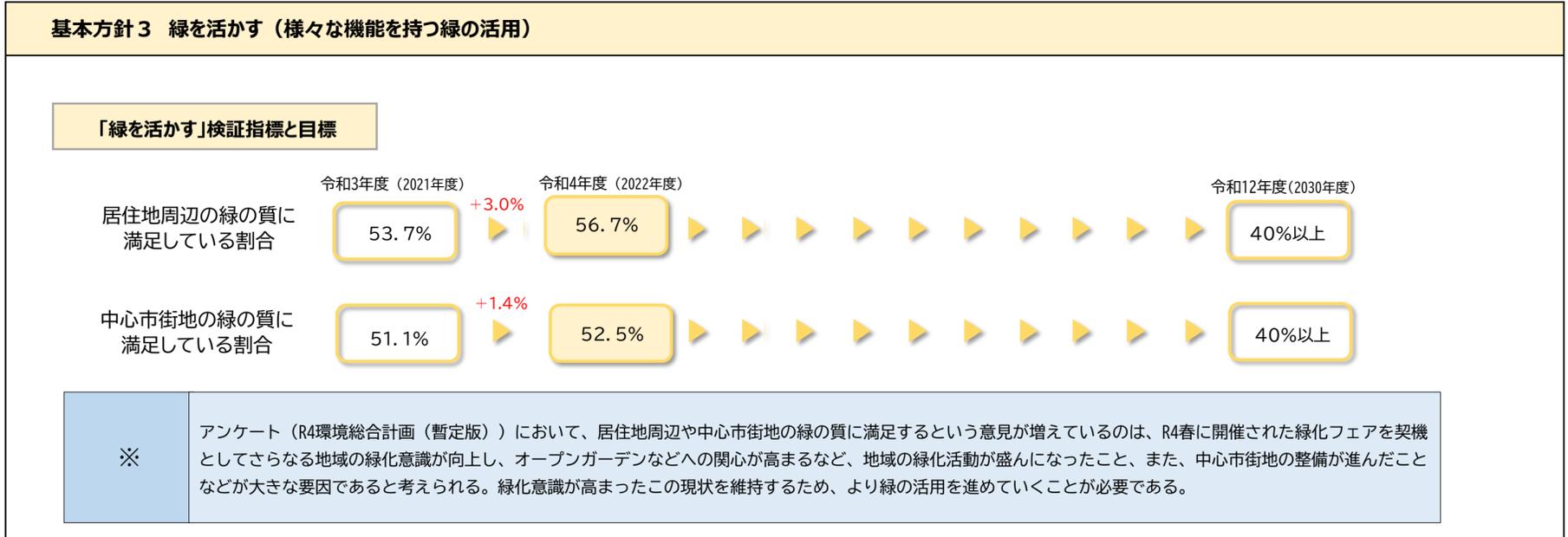


(写真14) 熊本駅周辺の緑化推進



(図1) 緑化地域(イメージ)

基本方針ごとの検証指標の目標と実績及び施策事業実績の評価(令和4年度)



1 森林等の緑の機能の活用

項目	担当課	令和4年度実績			評価及び今後の取組
		項目	計画値	実績値	
(1)森林・竹林の維持管理と有効活用	健康づくり推進課 みどり政策課 みどり公園課 花とみどり協働課	立田山麓の森において健康アプリの活用	50回	696回	・立田山麓の森では、緑化フェアに合わせてICTの活用などが行われ、森に親しむ環境の整備は計画どおり進んでいる。 ・市民の環境教育や野外レクリエーションの場として、金峰山や立田山、雁回山の森林は適切に維持管理され、活用されている。
		金峰山管理(協議会事務)業務	3,157千円	2,592千円	
		九州自然歩道管理(金峰山周辺において地元団体に清掃やパトロールを委託)(図2)	20回	24回	
		雁回山管理業務(草刈、施設修繕、協議会事務等)	28,284千円	23,770千円	
(2)市民農園等の有効活用	農業政策課	市民農園や観光農園等の利用促進のための情報発信(写真15)	実施	実施	・市民が農業にふれあい、理解を深める場となる市民農園や観光農園の利用の推進のため、HP等で情報発信を行っている。今後も引き続き情報発信を行っていく。
(3)緑の適切な維持管理と活用	花とみどり協働課 みどり公園課 各施設所管課	道路ふれあい美化ボランティア(道路の草刈りや清掃などを行ってもらう地元団体や企業などの団体)登録団体。	前年以上(117団体)	155団体	・既存の緑について、精神的充足、景観形成、緑陰の提供などの多様な機能が効果的に発揮されるよう街路樹や公共施設において、ボランティア制度を活用した適切な維持管理を行っている。今後も、各区・各施設の除草や剪定などの維持管理手法や、グリーンインフラとしての活用の検討を含めて、引き続き適切な維持管理を行っていく。
		中央大江交流室の樹木維持管理(剪定)(写真16)	35本	8本	
		・南区役所庁舎周辺樹木草地の維持管理。	640千円	933千円	
		・東区役所および秋津・託麻・東部まちづくりセンターの樹木剪定面積	500㎡	1,295㎡	



(図2) 金峰山地区俯瞰図



(写真15) 市民農園



(写真16) 大江交流室の樹木剪定

基本方針ごとの検証指標の目標と実績及び施策事業実績の評価(令和4年度)

2 都市公園の魅力の向上による身近な緑の活用

項目	担当課	令和4年度実績			評価及び今後の取組
		項目	計画値	実績値	
(1)公園の特性に応じた活用の推進	熊本城総合事務所 スポーツ振興課 動植物園 文化財課	・「熊本城みどり保存管理計画」策定業務★	1,700千円	3,487千円	・熊本城公園においては、みどり保存管理計画の策定や場内危険木撤去等を行い概ね計画どおり進んでいる。今後も引き続き計画的に進めていく。 ・動植物園マスタープランについては、審議会において毎年度進捗管理を実施し、令和6年度に中期見直しを行う。 ・特殊公園(歴史公園等)は、史跡等の文化財の公開等、歴史文化資源を活かした公園であり、清掃・除草・樹木剪定等で適切な管理と活用を行っている。今後も引き続き、適切な維持管理を行っていく。
		・熊本城内の危険木撤去★(写真17)	110本	108本	
		・動植物園マスタープランに掲げる施設の長寿命化	117,100千円	102,498千円	
		・歴史公園(北岡自然公園他5公園)の公園維持管理(清掃・除草・樹木剪定等)(写真18)	21,720千円	23,505千円	
		・史跡公園樹木点検調査業務	4,700千円	2,915千円	
(2)既存公園の有効活用	健康づくり推進課 みどり公園課	・公園施設の更新(改修)(写真19)	182公園	211公園	・誰もが何度も利用しやすくなる公園となるよう、市民や事業者と協働し、公園施設の更新やアプリの登録など新たな取組も含めて計画どおり進んでいる。今後も引き続き計画どおり行っていく。
		・水前寺江津湖公園の熊本健康アプリへの登録	1公園	1公園	
(3)官民連携による公園の魅力の向上	みどり政策課 みどり公園課 花とみどり協働課	・公募設置管理制度(Park-PFI)の導入に向けた検討(サウンディング等)	2公園	2公園	・いつでも誰もが安全・快適に公平で、楽しい利用ができるよう、管理運営の充実や、地域住民や民間企業等の民間活力を導入した公園づくりの推進のため、Park-PFIの導入検討や指定管理者制度の運用を行っており、計画どおり進んでいる。 ・公園地域パートナー事業については、計画を上回る事業実施を図ることができた。今後も地域への積極的な呼びかけにより事業の拡大を図る。
		・指定管理者制度(主に民間の指定管理者が主体的に公の施設の管理を行う制度)を取り入れる公園	前年以上(1公園以上)	1公園	
		・公園地域パートナー事業(熊本市と自治会等の地元団体が委託業務契約を交わし、公園の草刈剪定などを行う事業)の公園	26公園	33公園	
		・公園の新設に伴う地元とのワークショップの開催	1公園	1公園	
(4)熊本地震を踏まえた災害に役立つ公園づくり	危機管理防災総室 みどり公園課 消防局警防課 健康福祉政策課	・防災倉庫内の棚卸し★	1回	1回	・災害時の避難場所や資材の集積所、仮設住宅の用地等としての活用など災害時に役立つ公園の機能確保のため、棚卸しや点検管理を定期的に行っている。今後は防災倉庫や耐震性貯水槽の老朽化の状況等も含め、引き続き定期的な管理を行っていく。
		・防災倉庫の点検・管理★(写真20)	10箇所	10箇所	
		・耐震性貯水槽の管理★	1,000千円	709千円	
(5)公園の新たな取組の検討	みどり公園課	・協議会制度(都市公園法第17条の2)の検討	検討	検討	・引き続き都市公園法第17条の2に基づく公園協議会制度の導入について検討を行う。 ※協議事項(例)…地域の賑わい創出のためのイベント実施に向けた調整や、都市公園ごとのローカルルール作り など

★………緑化重点地区で主に取り組む事業



(写真17) 熊本城樹木維持管理(危険木)



(写真18) 歴史公園(北岡自然公園)



(写真19) 公園施設の更新(八王子中央公園)



(写真20) 都市公園内の防災倉庫

3 特色を生かした緑地の活用

項目	担当課	令和4年度実績			評価及び今後の取組
		項目	計画値	実績値	
(1)自然環境を保全・活用した都市緑地の整備	みどり公園課	・小江山緑地遊歩道整備(写真21、22)	180m	180m	・市街地及びその周辺に残る良好な緑地の保全として小江山緑地遊歩道整備は計画どおり進んでいる。R5年度は戸島山緑地の遊歩道整備に着手する。 ・白川左岸緑地で夜市を開催するなどの取組を継続しており、河川敷等の活用を推進している。今後も引き続き取組を進めていく。
		・白川左岸緑地(緑の区間)の有効活用に向けた取組★(写真23)	6回	7回	

★………緑化重点地区で主に取り組む事業



(写真21) 神園山小江山緑地 遊歩道:整備前

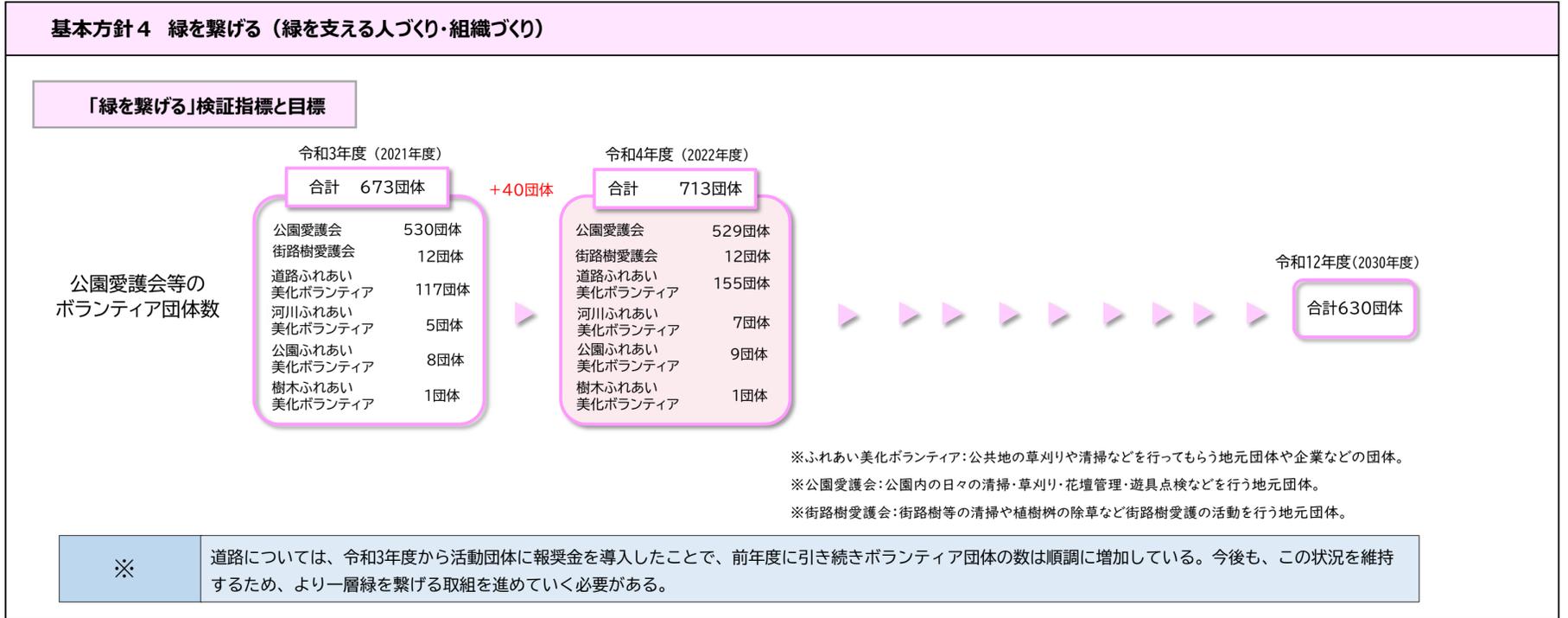


(写真22) 神園山小江山緑地 遊歩道:整備後



(写真23) 白川左岸緑地:白川夜市の開催状況

基本方針ごとの検証指標の目標と実績及び施策事業実績の評価(令和4年度)



1 緑に親しみ学ぶことによる市民の緑化意識の高揚

項目	担当課	令和4年度実績			評価及び今後の取組
		項目	計画値	実績値	
(1)緑化に関する行事の開催・情報発信の充実	花とみどり協働課 動植物園 みどり政策課 みどり公園課 国際課	・全国都市緑化くまもとフェアを開催。(写真24)	160万人	168.5万人	・市民が自然や緑に親しみを増すイベントは緑化フェアをきっかけとして多数開催された。今後全国都市緑化フェアを一過性のものとせず、フェアを契機とした緑化意識の向上を継続させていく取組が必要。 ・くまもとオープンガーデンの開催も3回目となり、春のイベントとして定着してきたと感じている。今後も、お庭のオーナーや参加者の声を聞きながら、継続したイベントとなるよう試行錯誤が必要である。 ・緑の相談所のリニューアルなどもあり、市民に緑化活動に関心が持てるような情報が提供しやすい環境となった。 ・緑視率調査の市民参加は実績がなかったため、今後、緑視率調査への市民参加の方法の検討等、更なる工夫が必要である。 ・サンアントニオ市日本庭園の改修については、R5にて竹垣を改修予定であり、本市とサンアントニオ市、サンアントニオ植物園での予算開始時期の違いなどもあるため、施工時期の調整が必要である。
		・くまもとオープンガーデン(市民や企業の皆様の庭を公開し、来場者に巡って楽しんでもらう取組)(写真25)	24箇所	41箇所	
		・熊本市動植物園にある緑の相談所における、相談員の設置	3人	3人	
		・緑視率調査への市民参加	10件	0件	
		・サンアントニオ市日本庭園東屋改修	10,000千円	14,000千円	
(2)市民や子どもたち等の緑化意識の高揚・情操教育の充実	花とみどり協働課 環境総合センター 動植物園 みどり公園課 教育委員会指導課	・緑のマイスター(養成講座で育成した地域の緑化リーダー)による少年団の指導	1回	1回	・緑のマイスターによる緑の少年団への指導を実施した。 ・学校環境緑化コンクールの審査部門については、30校の小・中学校の応募があった。今後も引き続き実施し、環境緑化活動を通じた情操教育を行っていく。 ・R4年度は全国都市緑化くまもとフェアのメイン会場の一つである立田山において、木育イベントを実施し、生態系や災害防止に関する森林の役割についてパネル展示や環境教育を行った。 ・市民の自然環境への意識高揚や、子どもたちの豊かな感性を育むため、今後もニーズに合った、地域に密着した取組を行っていく。 ・樹名板の設置については、立田山憩の森を中心に、緑のマイスターなどのボランティアや市での設置を令和3年度から行っている。今後は街路樹や公園でも、市民協働での活動として推進していく。 ・地域ボランティアやPTA等と連携した学校緑化活動を引き続き実施していく。
		・学校環境緑化コンクールの相談助言部門の応募校数★	15校	8校	
		・学校環境緑化コンクールの審査部門の応募校数★	無	30校	
		・森林環境教育、木育イベント(写真26)	3業務	4業務	
		・自治会などの地元団体や保育園等への花苗配布(写真27)	1,600団体	1,560団体	
		・樹名板の設置	50個	0個	
・地域ボランティアやPTA等と連携した学校緑化活動を行う学校数	140校	115校			

★.....緑化重点地区で主に取り組む事業



(写真24) 全国都市緑化くまもとフェア(街なかエアリア)



(写真25)くまもとオープンガーデン



(写真26) 森林環境教育



(写真27) 花苗植付の様子

基本方針ごとの検証指標の目標と実績及び施策事業実績の評価(令和4年度)

2 市民・事業者・行政の協働による緑化活動の展開の促進

項目	担当課	令和4年度実績			評価及び今後の取組
		項目	計画値	実績値	
(1)市民団体の活動促進	花とみどり協働課 河川課	・公園愛護会のある公園(写真28)	673公園	698公園	・既存団体の活動の活性化に努める取組は適切に行われている。今後も引き続き適正に行っていく。道路ふれあい美化ボランティアは令和3年度からの報奨金制度開始により、自治会等の活動団体が増加している。新たな市民ボランティア団体の組織化につながる取組を、今後も積極的に検討していく。 ・いきもんネットについて記載する
		・地元団体や企業などが公共地の草刈りや清掃などを行うふれあい美化ボランティアへの支援団体	前年度以上 道路117 河川5 公園8	(団体数) 道路155 河川7 公園9	
		・市民団体相互の情報共有のためのプラットフォーム設置運用	2回	0回	
(2)緑化活動を通じた健康づくり	健康づくり推進課 各施設所管課	・北区の魅力を生かした交流促進事業として作物の植え付け収穫及び花植え事業(写真29)	170千円	170千円	・作物の植付け・収穫及び花植えにより、参加者相互の交流のきっかけを作り、コミュニティの醸成や参加者の心身における健康づくりに寄与することができた。
(3)緑化技術の普及	動植物園 花とみどり協働課	・緑化に関する講習会として花と緑の講習会	22回	14回	・行政職員だけでなく市民の緑化活動推進に必要な植栽技術や維持管理技術等を、講習会や動画によって普及した。 ・花と緑の講習会は、コロナ禍の影響を受け、実施回数が減少した。 ・今後も引き続きマスターを養成し、地域での活動の活発化を図る。
		・花の育て方・植栽技術講習会	2回	1回	
		・緑のマスター(地域の緑化リーダー)の養成(写真30)	75人	63人	
(4)企業等の緑化活動推進	花とみどり協働課 河川課	・企業から協賛金を募り、熊本市が管理する植樹帯等を整備運営してもらうスポンサー花壇の維持管理★(写真31)	400㎡	400㎡	・市民ボランティア団体の主体的活動と、企業からの協賛金で花壇の維持管理運営を行うスポンサー花壇の取組は、県内外から高い評価を得ているが、拡充には至らなかった。今後も引き続きボランティアや企業との連携を図り、HPやSNS等により広報を行っていく。
		・スポンサー花壇拡充★	1箇所	0箇所	

★……緑化重点地区で主に取り組む事業



(写真28) 愛護会による公園の清掃状況



(写真29) 北区の魅力を生かした交流促進事業



(写真30) 緑のマスターの取組(軽トラガーデン)



(写真31) スポンサー花壇

3 緑化推進のための組織運営の強化

項目	担当課	令和4年度実績			評価及び今後の取組
		項目	計画値	実績値	
(1)基金等の活用	みどり政策課	・熊本市ふるさとの森基金(熊本市の良好な自然環境の確保に資することを目的に設立した基金)への寄付	3,000千円	2,800千円	・良好な自然環境の確保に資するための「熊本市ふるさとの森基金」については、計画値には及ばなかったが、令和5年1月からふるさと納税のメニューとして熊本市HPでPRを開始したことにより、以降については寄付額が増加しているため、今後も引き続きPRを行っていく。 ・緑のじゅうたんサポーターの募金は、昨年度に引き続き個人・事業者共に多数の募金をいただいた。今後も引き続きPRを行っていく。
		・緑のじゅうたんサポーターの募金(図4)	8,000千円	7,900千円	
(2)関係団体との連携	みどり政策課 花とみどり協働課	・緑化活動を通して森づくりや人づくりを行うことを目的とした緑の募金のPR(写真32)	3回	3回	・熊本県緑化推進委員会、地域みどり推進協議会、くまもと緑・景観協働機構と連携し緑化支援制度を活用している。今後も引き続き支援制度の活用を行っていく。 ・子どもたちと地域の未来を考える花と緑のまちづくり全国首長会において、他都市の首長と連携し、花と緑のまちづくりを実現する輪を広げた。今後も引き続き連携し取り組んでいく。
		・くまもと緑・景観協働機構(民間緑化や景観形成活動の支援などを主たる目的として設立された組織)の制度の活用	30件	49件	
		・子どもたちと地域の未来を考える花と緑のまちづくり全国首長会への参加(写真33)	1回	1回	



(図4) 市電緑のサポーター募集のポスター



(写真32) 緑の募金活動の様子(コロナ前)



(写真33) 花と緑のまちづくり全国首長会総会